

雪起し作業とスギ苗畑管理

林業教室

今年は豪雪によって造林地の雪倒れ面積が相当に大きく適期の雪起しが必要であり、融雪もおくれ農作業との競合することが考えられ、労働対策を中心として計画的に事業を推進し、全被害面積の雪起しを完了するようにせられたい。雪起しの適期は五月上旬までであるから、この期間中に実施するよう。

苗畑管理については、今年は特に雪ぐされ病が発生すると思われ、すので次のように予防するよう求めたい。

- 一、融雪水の早急な流出を行うため小溝を設ける。
- 二、薬剤撒布による法、融雪後直

(写真は朝日中学校入学式)



(写真は朝日中学校入学式)

「願ひましてはア……三七円なり……五八円なり……九〇円なり……」学校放課後のひととき、にぎやかな声が冬の空へ響く。これは前坂冬期分校、豪雪の中につれに珠算を習得しようとする婦人会が中心になつて分校へ集まつたきよはの第八日目、赤ちゃんを背負つた母ちゃん、老眼鏡が欲しいおばあちゃん、まん中にどつしり父ちゃんも一心にソロバンをにらんでいる。最初は人指し指一本でチョンチョンとやっていたのに、家へ帰つては寝床の中だけで持ちこんで練習したというだけあつてその腕前たるや、たつた八日で五級位の実力がついてしまつた。見取り算、乗算、除算、小計算と問題はつゞく、ストロブの火がすつきり消えて、もう夕暮れになつたというのにだれも腰を上げない、雪深くとも春また遠からず。ダムの試験にたえて伸びゆく

義務教育の教科書無償法について



季節風

御承知の様に今年四月に小学校に入学された児童には国から教科書がタダで配布されました。これは憲法第九十二条に基いて義務教育を無償にするという基本精神が実行されたわけでこれは人道行を云々される池田首相のやうに第一の善政だろうと思ひます。

池田首相の経済成長の高速度に伴い、われわれ庶民の生活が物価高のムードに包まれて此の頃

義務教育の教科書無償法が実現されて立派な文教政策が行われるのは、特に入学児童を持つ父兄には本当に嬉しい事である。しかし来年の一年生入学の児童にもやはり無償で配布されるか、或は一年生から六年生まで全部無償で貰えるかは今のところ、まだはっきりわからぬ状態らしい。義務教育と言えは小学校一年生から中学校三年生の九年であるから、教科書は全学年の生徒児童全部がタダで貰えると考えるのが常識だろが、まだ現在のところ、来年入学する一年生の児童の教科書代すら予算が全く立っていないらしい。現在大体小学校一年生から中学校三年生まで九年間の全国児童生徒全部に教科書をタダで配布するとなると約七拾億位かかるので、もちろん大蔵省は予算がないと当然蹴る。しかし現在問題になつてい

海外技術協力事業団

これは昨年六月に発足したばかりの政府が行なう海外との技術協力を一手に引き受けようとする外務省の外郭団体であつて、外務大臣の監督を受けることになつて居る。この事業団の目的は昨年国會にて成立した海外技術協力事業団法に規定されている、いわゆる後進地域に対する政府関係の技術協力を一手にあつかうと云うのであつて、つまりアジア、中南米、中近東、アフリカなどに対する技術協力で、先進国が後進国に行う経済援助のひとつの手段です。おなじ人類として文明の恩恵に浴さない生活水準の低い人々を助けて行くのは先進国民の任務だと言ふことは、日本自身の将来の貿易市場を育てる上からも低開閉国の経済水準を引上げて行かねばならぬと言ふことが、日本にとつて後進国援助の必要理由だろうです。

児童生徒の作文

五年 洞口 淳子

きよのあき、みんながあつまるばしよへおねえさんたちといつたら、ふきやのみつこちゃん、みつちよちゃんをつれてきて「まがりうちのにわとりをころしたでおかあさんにいつてくるでな」といつて、うちのほうへかへてしまつた。

ちようどそこへバスがきてとまりました。わたしたちはなんだろうとおもつてみると、うんでんしゆさんが、はやくのりなさいとゆうふうにご手をふつていました。しやしようさんがおきてきて「はやくのりなさい」といつたので、みんなはみつこちゃんをのこしてバスにのりました。

しばらくくと中学校の子にあつた。うんでんさんが、またバスをとめました。中学校の子が「バスはしり出さな、みんなはきやきやといつてまどの外を見ま

僕の家は豆腐屋だ。

一年 美濃島清美

僕の家は豆腐屋だ。祖父、母が夫で、ぼくたちのことを、いそがしい中に大変注意して見守つてくれる。家がこんな前売だけに、母などは、朝冷たい水の中に手を入れて、手は赤くざらざらに荒れている。母の手を見ては、九十年もの長い間、豆腐屋を売るとして来た苦しみなどが、よくわかる。今年の冬は、大雪で、電気が停電して時々家を休むことがある。豆腐配達は、大谷、持穴、半原などへするが、吹雪の日など大変だと思ふ。ぼくらもよく配達するが肩と腰がいたい。これから先は雪だけで、なだれなどがよく出るから、配達が大変だと思ふ。よくテ

編集風景

編集室の一景

このほか外出中の者、中森忠三、出村清一、平野勇の三氏あり。

編集室の風景。このほか外出中の者、中森忠三、出村清一、平野勇の三氏あり。

10年選手



番屋 喜代志氏

大正十五年十月二十八日生

上大納の番屋さんは親孝行な円満な方であるが、先日「10年選手」としての一問一答を試みた。

○貴殿は十年以上鉱石運輸の業務を続けて居られると聞きましたか？

○もう十四年になります。交通途

絶以外は毎日、一日二往復して

○道路の悪い時は御苦労さんですね、特に危険と思うことはありますか？

○昭和二十七年、八年は最もよかつたようです。伊勢湾台風以来さつぱりです。平素から気をつけねばならぬことは、どこで山の木を切つたかということ。その附近はナダレ危険箇所であるといふこと。時々都会地から来た車に会うのがこわい。雪のこわさを知らないで平気でやつてくる。学校の子供は一年生より三、四年生が平気なので心配。バイクなどを追いつたり越えたりするのは不安です。

○四季の中で一番疲れるのは？

○勿論春の雪だけ傾です。上と前を気をつけるだけでなく、下も物凄く悪いので、へとへになります。

○その道のベテランとはいへ、今後とも充分気をつけて下さいね



(写真は上地区婦人会総会)

団法に規定されている、いわゆる後進地域に対する政府関係の技術協力を一手にあつかうと云うのであつて、つまりアジア、中南米、中近東、アフリカなどに対する技術協力で、先進国が後進国に行う経済援助のひとつの手段です。おなじ人類として文明の恩恵に浴さない生活水準の低い人々を助けて行くのは先進国民の任務だと言ふことは、日本自身の将来の貿易市場を育てる上からも低開閉国の経済水準を引上げて行かねばならぬと言ふことが、日本にとつて後進国援助の必要理由だろうです。



レビで、なだれで人が死んだと聞くと、心配になる。ぼくもなるべく手伝いたいが、いざその時になると、あまりできない。

祖父や母の苦勞を思えば、配達などはなるべく手伝わなければならぬと思つて居る。祖父、父、母に、じようぶで長生きしてもらつて、今は何もできないけれど、一人前になつたら、少しでも、今まで長い間育ててくださった恩返しをしたいと思つて居る。

遠寒村を思ふせ、外部でこの地名を聞くとも物凄く軽侮されたやうで不快だつた。自己嫌悪でも言うのだから。又へんなものでも自分のせいではなかつたことにしてしまつた様な、責任感のない申訳なきを感じることもあつたものだ。◆町村合併と共に「和泉村」と改名されて何もかも一新し、大起一番若杉が大家と改め、名実共に盛り返すやうとしたあゝの気持で兎も角「いずみ」と言えれば心地よい楽土を思い出させる実体にはたいものと思つて来たのに。今日、この頃の「いずみ」はどうか。伊勢湾台風以来引続く災害に「災害のいずみ」となり昨三十七年度は何事もなく平穩に通過して、必然的に復旧工事も急ピッチで能率よく進み河岸は美しい人工曲線を画き、加えてダム地帯の音も高く景気も上々、いよいよ名実共に賑返上の機運到来と思つたのに。そうは問屋が卸さなかつた。◆何十年振りかの豪雪は人々の必死の除雪も辛うじて家屋保全に役立つのみで、その跡は長く尾を引き、桜も散り果てようという今に至るも交通は開けず、わずかに電燈会社の社力によつて隣県との道が開けているのみ、少くも福井県民としての救助、政治的救助は残念乍ら郷土人を喜ばせる何も見ることが出来ない。県人で在り乍ら県内各地と往来出来ず隣県への便利は前述の通りで世にも珍らしくもまた哀れではないか。◆毎年三月一ばいで閉鎖される学校の冬季分校も通学路への落石・なだれの危険でいまだに閉鎖出来ない学校もある、地名は変わつても穴馬は穴馬よと、人の口から出る日が刻々近づくに宿屋はあるか、副食は売つてゐるか聞かれることもあるが、益々その感が深い、体が名を現すわけである。◆政治は道路からこの村を素通りして居るやうである。道路と言つても只一本の金沢一岐卓線あるのみ、その一本が完全に出来ないとは、地元民はこの一本に生命をかけて居るのであることを十分認識してほしい。



(写真は再度の交通止めとなつた国道福井松本線(穴馬街道)湯上トンネル和泉村より人口附近の大崩壊現場)

かじか

◆名は体を現すと云われるが、逆に体は名を現すこともある。当村の地名「アナム」の語源は、(大げさか?)の暮しとは凡そ縁遠いへき遠寒村を思ふせ、外部でこの地名を聞くとも物凄く軽侮されたやうで不快だつた。自己嫌悪でも言うのだから。又へんなものでも自分のせいではなかつたことにしてしまつた様な、責任感のない申訳なきを感じることもあつたものだ。◆町村合併と共に「和泉村」と改名されて何もかも一新し、大起一番若杉が大家と改め、名実共に盛り返すやうとしたあゝの気持で兎も角「いずみ」と言えれば心地よい楽土を思い出させる実体にはたいものと思つて来たのに。今日、この頃の「いずみ」はどうか。伊勢湾台風以来引続く災害に「災害のいずみ」となり昨三十七年度は何事もなく平穩に通過して、必然的に復旧工事も急ピッチで能率よく進み河岸は美しい人工曲線を画き、加えてダム地帯の音も高く景気も上々、いよいよ名実共に賑返上の機運到来と思つたのに。そうは問屋が卸さなかつた。◆何十年振りかの豪雪は人々の必死の除雪も辛うじて家屋保全に役立つのみで、その跡は長く尾を引き、桜も散り果てようという今に至るも交通は開けず、わずかに電燈会社の社力によつて隣県との道が開けているのみ、少くも福井県民としての救助、政治的救助は残念乍ら郷土人を喜ばせる何も見ることが出来ない。県人で在り乍ら県内各地と往来出来ず隣県への便利は前述の通りで世にも珍らしくもまた哀れではないか。◆毎年三月一ばいで閉鎖される学校の冬季分校も通学路への落石・なだれの危険でいまだに閉鎖出来ない学校もある、地名は変わつても穴馬は穴馬よと、人の口から出る日が刻々近づくに宿屋はあるか、副食は売つてゐるか聞かれることもあるが、益々その感が深い、体が名を現すわけである。◆政治は道路からこの村を素通りして居るやうである。道路と言つても只一本の金沢一岐卓線あるのみ、その一本が完全に出来ないとは、地元民はこの一本に生命をかけて居るのであることを十分認識してほしい。